

高めよう授業力・育てよう学習力（授業づくり・授業参観のポイント）

～夢や志をもち、他者とかかわり、自らを高めていこうとする子どもの育成～

子どもの内面的な思考活動がアクティヴになる

	学習過程・子どもの反応	教師の働きかけ
導入 学習の見通しを立てる	<p style="text-align: center;">めあての確認</p> <p>◇ 本時のめあてを明示し、学習の見通しをもたせる</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「おもしろそう」「やってみたい」「なぜ、どうして？」 「前に習ったことが使えそうだな」</p> </div> 	<p style="text-align: center;">めあてや学習課題の提示</p> <p>○ 子どもの興味・関心・意欲、既習の知識・技能・見方や考え方を引き出す</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☆ めあての立て方ポイント5 ☆</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その授業における学習のねらいをついたもの 2. 具体的な問いかけであり、ゴールまで見通せるもの 3. 学習意欲を刺激する魅力的なものであること 4. 子どもの実態に応じたレベルと表現であること 5. 子どもの望まれる姿（評価規準）が見えるもの </div>
展開 能動的な学習活動	<p style="text-align: center;">かかわり合いのある場</p> <p>◇ 自分なりの考えをもたせ、仲間とかかわり合わせる</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「いくつか解決方法が考えられそうだな」 「〇〇さんの考え方はいいな」 「どうしてそう思ったの？」</p> </div> 	<p style="text-align: center;">めあての追究を促す主発問</p> <p>○ 子どもにとって適度な負荷があり、自分なりの課題や共通の課題が発生するような問い</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">言語活動の充実</p> </div> <p>○ 子どもの中に話し合う必要感をもたせる</p> <p>○ 学習形態（ペア、グループ、一斉）、編成の工夫</p> <p>○ 話すこと、聴くこと、書くことの指導（各発達段階で身に付けさせたい力：聴く力、話す力）</p> <p>○ ノート指導、学習シートの活用、ホワイトボードなど自己表現のための工夫、ICTの活用など</p>
終末 学習を振り返る	<p style="text-align: center;">本時の振り返り</p> <p>◇ 子どもの言葉で、自分自身の学びを自覚できるようにする</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「つまり～ということだね」「あのことと同じことだ」 「今日の～をつかって、次は～してみたいな」</p> </div> 	<p style="text-align: center;">身に付けたことを実感させるまとめと振り返り</p> <p>○ めあてとリンクしたまとめ、振り返りを行う</p> <p>○ 評価の工夫 児童生徒の自己評価・相互評価 → 振り返りシートの活用</p> <p>○ 児童生徒による授業評価</p>
配慮事項	<p>○ 教師と子ども・子ども同士の対話を大切に人間関係づくりを心がける</p> <p>○ 教師による必要以上の説明（話しすぎ）、教師によるリボイスをなくす</p> <p>○ 一人ひとりの学習状況に応じた個別指導を実施する</p> <p>○ 学習状況に合わせた家庭学習の充実</p> <p>○ 4点セット、学力向上支援資料、課題克服ジャンプアッププリントの活用</p>	